

## 2021 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 八千代市立大和田南小学校 ] 担当教諭名 [ 中野 彩華 ] ( 6年1・2・3・4組 40名 )

相手国・地域 [ 台湾 ]

海外学校名 [ Wen Ya Elementary School ] 担当教諭名 [ Ruth Hou ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	SDGsで皆の未来を最高にしよう！	40

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	エネルギーをクリーンに 海や陸の豊かさを守り続ける
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	国境を越えて未来に続く暮らしをつくりあおう



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ会議を通じてのやり取りを行ったことで、相手がいる実感と活動への責任感が生まれ、最後まで環境問題への課題をもち続け、自分たちにできることを探し続ける姿が見られた。</li> <li>・主に言語面で相手国を配慮する姿が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨今の状況下から、学年を超えた活動が難しく、思うように校内や校外に向けての活動の発信や協力をお願いをすることができなかった。</li> <li>・児童・教師共に活動の見通しが甘く、締め切りに追われる形で慌ただしくなってしまった。</li> </ul>

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユネスコスクールの一員として活動できることや他国の子供たちとのつながりが生まれることに対する喜びをもつ児童が増えた。</li> <li>・テレビ会議やフォーラムでのやり取りを通して、言語の必要性を感じ、外国語科(英語)の授業に真剣に取り組むようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他国の小学校教員とのやり取りをするのが初めてだったため、互いの情報や学校の状況を考慮したり、理解したりしながら進めることできた。国は離れていても、同じ方向へ向かって指導する教育者としての関わりをもてたことに喜びを感じている。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月 9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsについて調べる</li> <li>日本の環境問題を考える</li> <li>台湾の環境問題を考える</li> <li>テレビ会議で自己紹介をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5年生までの学習からSDGsへの理解が深い児童が多いため、興味のある問題について熱心に調べていた。テレビ会議への期待値は高かった。</li> </ul>	総合7
共有 テーマ学習	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsのゴール(7,13,14,15)をもとに、学校でできることを考える。</li> <li>活動の計画を立てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化防止を進めるために自力でできる活動を繰り返し話し合う様子が見られた。</li> <li>活動は常に台湾を意識していた。</li> </ul>	総合3
融合 メッセージ作成	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>節水節電の呼び掛け、グリーン化計画(校内に植物を増やす)、ビオトープづくりを進める</li> <li>台湾とのメッセージを考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味のある活動であったため、意欲的に活動に取り組んでいた。</li> <li>台湾から壁画の下書きが送られてきて、壁画作成への期待が高まった。</li> </ul>	総合8
創造 壁画制作	11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>節水節電の呼び掛け、グリーン化計画(校内に植物を増やす)、ビオトープづくりを進める</li> <li>壁画の作成を進める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>壁画作成は特に児童が積極的に取り組んでいた。よりよい作品を台湾に届けるために、丁寧に描きすすめる様子が見られた。</li> </ul>	総合10
評価 振り返り 自己評価	1月 ～ 3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の振り返りを行う</li> <li>壁画の鑑賞をする</li> <li>最終報告会を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分事として活動を進めることができていたため、成果への達成感だけでなく、これまでの取組の反省についてもしっかりと振り返ることができた。</li> </ul>	総合12

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	5	テレビ会議を実施する際に日本や自分たちの住んでいる市についての紹介を行うために、文化や著名なものについて調べていた。より相手に理解してもらうために翻訳してわかりやすい資料を作成した。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	活動報告会(中間・最終)を行う際に、これまでの活動を振り返って反省点を見出したり、次回の活動に向けての目標を考えたりしながら、冷静に自分たちの活動を分析することができていた。
主体的に考え行動する力	4	限られた環境の中で活動を進めるという条件のもと、どのように活動の協力を校内に周知するべきかを考え、協力してくれた学級向けの賞状づくり、プログラミングを活用したゲーム作りなどを行い、様々なアイデアを輝かせ実現することができた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	4	テレビ会議では、英語を使って自分たちの活動について伝えたり、中国語を入れた資料を作成したりして円滑に活動が進められるようにした。フォーラムの投稿も何度か児童が行った。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	互いの文化や目指すSDGsの目標を意識しながら、メッセージ及び壁画のデザインを考える姿が見られた。壁画の下書きの際は立候補者を募ったところ多くの児童が希望し、デザインを考えた。